

SISTER  
CITIES  
NEWS

# 姉妹・友好都市ニュース

International Friendship Association of Ibaraki  
vol.44 2005.5.14  
茨木市国際親善城市協会



親善試合の後、安慶市の選手（右側）と〔安慶市体育館〕

## 目 次

- 茨木市スポーツ親善訪中団、会員募集、内海町宿泊利用者補助制度…………… 2・3
- 茨木カンツリー倶楽部青少年国際交流助成事業基金…………… 4
- JICA研修員のホームビジット受入れ、ホストファミリー募集、実用日本語学習会…………… 5
- 国際交流の集い…………… 6
- JICA研修員とのふれあい交流、英語俳句コンテスト…………… 7
- 姉妹都市活動室、We Are Friends !、2005年度行事予定 …… 8

# 茨木市スポーツ親善訪中団



安慶市表敬訪問

女子シングルの熱戦

男子ダブルス優勝の廣沢・植木ペア

レース直前(1,3,5の各コースが茨木チーム)

試合を終えた水泳チーム

友好交流センターを訪れて

## 青少年の交流による日中親善を願って

団長 大友 康亘

茨木市と安慶市が友好都市となって、今年で20年になりました。1989年に青少年間のスポーツ交流(中学生の水泳と卓球)が始まり、今回は9回目になります。

私は3度目の団長で、コーチ4名、水泳7名、卓球18名の計30名の大人数を率いました。

安慶、上海とも久しぶりででしたが、その発展と変貌は驚くもので、特に安慶市では、上海からの高速道路が開通し、長江を渡る安慶大橋が完成し、かつて洪水に見舞われた沿岸には6車線の道路とスーパー堤防ができ、素晴らしい公園となりました。

宿舎や試合会場、見学先では熱烈歓迎の横断幕が掲げられ、表敬訪問、歓送迎会、親善試合開会式などいたるところで大歓迎を受けました。参加した選手達にとって、安慶の選手との交流などで大満足だったと思います。

親善試合では水泳は女子のリレーとメドレーリレー、卓球は男子のダブルスと団体戦で優勝と、茨木の選手も健闘しましたが、北京オリンピックを2008年にひかえた安慶選手の方が実力は高いようでした。

現在、中国との関係は難しいものがありますが、今回のような青少年の交流によって友好親善が続くことを感じました。



## 中国で驚いたこと

養精中学校 坂口 侑希

僕は3月25日から30日までの6日間、中国に行きました。昨年も申し込んだけど、鳥インフルエンザのため中止になり残念でしたが、2年生で行かれて、とても楽しみでした。

上海の街はとてもきれいで広く、日本の東京を思わせるほど多くのビルがありました。

しかし、安慶の街は上海とは違い、今にも倒れそうな建物がたくさんあり、物乞いをする人達もいました。なぜ、同じ国なのにこんなに貧富の差がでるのか不思議に思いました。

歓迎会では、試合をした子ども、していない子どもも交流を深められてよかったと思います。食事は見たこともないようなものがほとんどで、犬の耳など日本人にとって特殊なものを食べるにはとても勇気がいりました。そして、食事より驚いたのが、同じ年齢の男の子の英語がとても上手だったことです。やっぱり国際的な交流には、英語は大切なものだと思えました。

親善試合では、シングルスで2位にがんばって、安慶の子達とまともに試合ができて嬉しかったです。今回の訪問が今後、安慶と茨木の友好を深める架け橋になればいいなと思いました。



## 自分の夢ができた中国

北中学校 岩本 舞

私は中国に行って、いろいろな事を学ばせてもらったと思います。中国と日本は環境も習慣も違います。でも、そういう経験ができたことはとても勉強になったと思います。

中国の子達と試合をした時、安慶の選手達は日本人を馬鹿にしているように思い、嫌な気持ちでした。でも、それは勘違いだったのか、試合が終わって帰ろうとしていた時、話しかけてくれて、キーホルダーみたいな物をもらいました。その時はとても嬉しかったです。お互いに中国語や日本語を話せないのが、戸惑っていたら英語で話しかけてくれ、英語の会話でとても良い国際交流の思い出になりました。

い出になりました。

上海は高いテレビ塔や高層ビルが一杯あって大都市という感じでしたが、安慶では木造の建物が多く、田舎という感じでした。同じ中国でも、都市と田舎の差が激しいなと思いました。

安慶では、二中に行く代わりに学芸会を見せてもらいました。最初は小学生からで、まだ小さいのに長い劇をやったり、楽器を使って演奏したり、すごい迫力で、中学生になるともっとレベルが上がり、タップダンスや歌など私達はただ圧倒されるだけでした。

私は、中国に行って少しは自分の人生が変わったと思います。中国に行ったことで自分の夢ができ、これからはその夢に向かって一生懸命勉強して、その夢の仕事につきたいと思います。

## 会員募集

本協会では、姉妹・友好都市をはじめ、国際交流に興味を持っておられる方々の入会をお待ちしています。

会員には、年2回発行する協会報の送付や、協会が催す交流行事のご案内をいたします。

〈年会費〉 個人会員 (一般) 2,000円  
(学生) 1,000円

〈申込先〉 協会事務局(市役所南館8階  
市民活動推進課内)

TEL 620-1604

## 市が内海町宿泊施設利用者に補助

姉妹都市内海町との交流促進を図るため、内海町の宿泊施設を利用する市民の皆さんに対し、宿泊費用の一部を市が補助する制度があるのをご存知ですか?

補助額(1泊)は、中学生以上3,000円、小学生1,500円で、1人につき年間2泊分まで補助されます。詳しくは、市民活動推進課へお問い合わせ、又は茨木市ホームページをご覧ください。

## 青少年のスポーツ・文化交流事業などに助成

—茨木カンツリー倶楽部青少年国際交流助成事業基金—

平成5年(1993年)、(社)茨木カンツリー倶楽部が創立70周年を記念して同基金を設置し、①茨木市国際親善都市協会が主催、共催又は後援する事業、②茨木市の社会教育関係団体に所属する者(団体)で、その活動目的に基づいて国外でのスポーツ・文化交流に参加する青少年(満24歳以下)のスポーツ・文化交流事業などに助成をしております。



### 平成16年度の主な助成事業及び助成金額

#### ○茨木市少年サッカーチームの派遣

【630,000円】

アメリカ合衆国ミネソタ州で行われた国際青少年サッカー大会(2004年USA杯)に中学生14人が参加し、サッカーを通じて世界各国の仲間と交流を深めました。また、ホームステイを経験することにより、アメリカでの生活を楽しましました。

#### ○茨木市キャンプ交流訪問団の派遣

【900,000円】

アメリカ合衆国ミネソタ州のロングレイクキャンプ場でのサマーキャンプに中学生20人が参加し、アメリカの青少年と共に1週間のキャンプ生活を行うことにより、アメリカの青少年と交流を深めました。

#### ○姉妹都市交流キャンプ(中学生リーダーキャンプ)受入

【26,505円】

茨木市と国内姉妹都市である香川県小豆島の内海町から中学1年生9人が茨木市を訪問し、銭原にある青少年野外活動センターで5泊6日のキャンプ生活を通して茨木市の子どもたちと交流を深めました。



ホストファミリーとサッカー教室参加後の記念撮影  
(茨木市少年サッカーチーム)

#### ○ワールドウィングス・スポーツバトンクラブ

北米訪問の派遣

【765,000円】

茨木市の姉妹都市・アメリカ合衆国ミネソタ州ミネアポリス市へ同クラブの17人が訪問し、市内にあるサウスウェスト高校のマーチングバンドとの交流やランタン・ライティングフェスティバルのパレードでの演技披露、また、ホームステイを体験するなど、貴重な経験をしました。

#### ○姉妹都市・友好都市との書画交換

【31,920円】

茨木市内幼稚園・小学校・中学校の子どもたちの絵画や書を、姉妹都市・アメリカ合衆国ミネアポリス市、友好都市・中華人民共和国安慶市、国内姉妹都市・内海町に送付し、それぞれの公共施設等で展示されました。

また、姉妹・友好都市から送付されてきた絵画・書は、「市立幼稚園・小学校・中学校総合展」で展示しました。

### 平成17年度 国際交流助成金の申請を募集!

1. 提出書類 ①事業概要等②旅費等の経費書類(見積書等)③所属団体等の概要④名簿
2. 申込 事業実施の60日前まで
3. 問合せ 茨木市国際親善都市協会事務局



いい匂いの特大ピザ! 食べる前に「はいチーズ♪」  
(中学生リーダーキャンプ)

### JIC研修員のホームビジット受入れ

1月22日(土)

## タンザニアが身近になった日

ホストファミリー 牧 享子

この度、来宅されたセンガさんは「タンザニアの県行政長官、50代の女性で英国に留学経験があり、基督教徒」という。あてにしていた娘は突然の休日出勤。遠い昔に英会話を外国人教師に習ったとはいえ、89歳の母と私では少し不安なので、急遽、友人の星野隆子さんに助太刀を依頼した。

迎えたセンガさんの茨木の印象は、とても町が美しく、食べ物も美味しいとのこと。タンザニアの地図や星野さん持参の本で出身地やその状況、ココナツの料理や食事、また、昨年娘と訪れた英国の写真や地図で、留学されていた大学のことなどが話題になった。日本茶を好み、相撲に興味があるというセンガさんは大らかである。スワヒリ語をたくさん教えてくださり、早速私たちも使ってみた。また、日本より就学が1年遅く高校が2年、大学は選考する科により1～5年という学制についても伺った。

夕食のすき焼きは、料理しながら食べる簡単料理という点で興味深げであった。食後、宗教の話になり、「私たちは仏教徒だけれど、幼い頃大戦

直後で日本はとても貧しく、停電時、母は子どもたちに賛美歌を教え、歌って点灯を待った」と話し、口ずさむと、彼女もスワヒリ語で歌った。歌詞の意味はスワヒリ語でも同じとのこと。

帰りの車の中でセンガさんは、今日のことは一生忘れない、そして母がとてもチャーミングだと言ってくれた。はるかなタンザニアが身近に感じられる日となった。センガさん、星野さん、母にAsante!(ありがとう!)



牧さん宅にて(右がセンガさん)

### ホストファミリーになりませんか?

協会では、姉妹・友好都市からの訪問者やJICA大阪国際センター研修員などを家庭に受け入れ、家族とともに生活するホームステイや外国の方を家庭に招いて交流を深めるホームビジット(日帰り)を通じて、日本での生活習慣をはじめとする様々な日本文化に触れられる機会を提供して下さるホストファミリーを募集しています。

ホストファミリーの登録に際して、制限はありませんが、善意かつ無償で責任を持ってお世話していただける方をお願いしております。詳しくは、事務局までお問合せください。

### Let's learn Japanese together!

#### 実用日本語学習会

実用日本語学習会では、日本語を母語としない方を対象に、マンツーマンで日本語学習の支援を行っております。

また、学習支援者も同時に募集していますので、興味のある方は、ぜひ一度見学に来てください。

とき: 〈Thursday Class〉 1:30 ~ 3:00 p.m.  
〈Friday Class〉 10:00 ~ 11:30 a.m.

ところ: 8th Floor at City Hall Annex

ひよう: 1,500円(テキスト代は実費)

れんらく: 新山宅(Tel. 090-3868-1346)

# 2005年国際交流の集い



2005年国際交流の集い  
International Gathering 2005

田邊昌男さんと茨木市民謡民舞同好連盟による内海町音頭



2005年国際交流の集い  
International Gathering 2005

ワールドウイングス・スポーツバトンチームの演技

平成17年2月12日、茨木市福祉文化会館の文化ホールなどで「2005年国際交流の集い」を開催し、市民と市内在住外国人等約180人が交流を図りました。

三部構成の第一部の外国人による日本語スピーチ大会では、世界6か国7人の発表者が、舞台中央でドキドキのスピーチ発表をしました。

第二部では、ファッションショーと外国人の着物体験、田邊昌男内海町委員会副委員長と茨木市民謡民舞同好連盟による内海町音頭の披露、茨木市少林寺拳法連盟の演武、ワールドウイングス・スポーツバトンクラブの演技披露、日本民謡恒栄会による和太鼓・津軽三味線の演奏など盛りだくさんの内容で、演技、演奏に酔いしれました。

第三部では、スピーチ発表者や第二部の出演者などが各テーブルで参加者と交流を行い、終始和やかな雰囲気となりました。



市民と外国人との交流会



## 心からの交流ができる場

山口 麗

「国際交流の集い」日本語スピーチ大会の後の交流会で、参加者の皆さんとワイン、お茶などを飲みながらタイの踊りを見ました。あまりにかわいい踊りでしたので、その踊りを習ってみたいと思いました。また、真に心の扉を開く音楽を聴きながら、10年間アメリカに住んでいた方とお話できました。お互いのアメリカでの体験談に始まり、いろいろな話に夢中になりました。お互いに言いたいことが言え、聞きたいことが聞け、本当に心の交流ができ、とてもよかったです。今でもその方の優しい笑顔が忘れられません。

心からの話、心からの優しさ、心からの笑顔で交流できる場所はとても大事だと思います。在日外国人の人たちは、多分私と同じような思いがあるでしょう。自分の気持ちを母国語と同じように日本語で言えたらどんなにいいでしょう。言えないときは本当に苦痛だと思います。でも嬉しいことに茨木市実用日本語学習会の先生方は、在日外国人一人ひとりの状況を考えあわせ、ていねいに教えてくださいました。日本語の習得だけでなく、日本人の気持ち、付き合い、習慣まで教えていただき、心から感謝しています。

# JICA研修員との 心温まるふれあい交流

平成17年3月12日(土)に「ふれあい交流」を行いました。これは、市内西豊川町にある独立行政法人国際協力機構JICA大阪国際センターの研修員と一般公募した市民とで市内公共施設等を見学し、参加者相互の交流を図るもので、今回は、中央図書館と安威川ダム情報交流センター、大門寺トンネルを見学しました。

普段では入ることのできない図書館の裏側の見学や建設中の安威川ダムの経緯など、市民参加者、研修員ともども熱心に説明を聞き入っていました。その後のJICA大阪国際センターでの交流会では、市民参加者と研修員が合同で歌や踊りの発表を行い、大いに盛り上がりました。



中央図書館の設備にビックリ!!  
安威川ダムについて熱心に勉強



みんなで楽しく歌って踊った交流会

## 英語俳句コンテスト入賞作品決定

今年も130句の俳句がミ市から送られてきました。今回のテーマはWALKですが、発想の豊かな作品が多く見られました。WALKを擬人的にとらえたもの、他の対象との取り合わせのおもしろいもの、また、全体の持つ意味を際立たせたものが、優秀作品として選ばれております。  
(翻訳:朝日大学助教授 吉村侑久代)

### 【幼稚園・小学生の部】

Stepping on the rocks  
Feel the sand run through my toes  
I see hermit crabs  
by Samuel August Wegner  
岩を踏みつけると  
砂が足の指の間をころがっていく  
ヤドカリのお出まし

### 【中学生の部】

Walking quickly by  
My footsteps disturb a bird  
Its wings spread in flight  
by Stephanie LaFayette  
急ぎ足で通り過ぎると  
足音が鳥を驚かせ  
鳥は翼をひろげて大空へ

### 【高校生の部】

I walk through my days  
Waiting for the golden times  
Blending night and day  
by Coco VanIwaarden  
毎日歩き続ける  
夜と昼とがまざりあうような  
素晴らしい時を待ちながら

### 【成人の部】

Tip toe silently  
Trying not to scare the birds  
Pecking at the seeds  
by Jacqueline Baker  
しずかに爪先立ちをする  
種をついばんでいる鳥を  
怖がらさないようにして

*Ibaraki Intercultural Network (IN)*

## 姉妹都市活動室

姉妹都市活動室では、英語力や国際感覚の向上、異文化理解のため、ゲストスピーカーを招いて、英語によるスピーチを聞いたり、ディスカッション等を行っています。また、JICA 研修員、阪大留学生や茨木市近隣に在住の外国人との交流を楽しんでいます。

興味のある方は、気軽に見学に来てください。

**例会：**第1木曜日 午前9時30分～11時30分  
第3土曜日 午後2時～4時

**場所：**クリエイトセンター

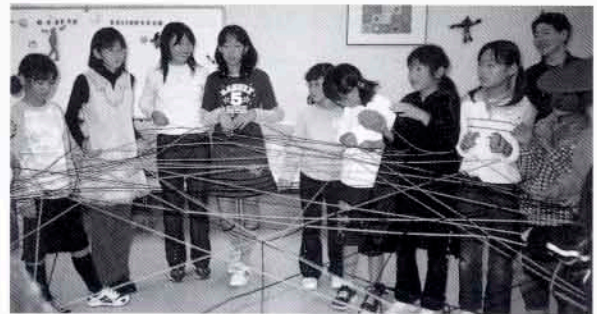
※変更になる場合があるため、協会事務局へお問合せください。

**年会費：**正会員 2,000円 (18歳以上)  
準会員 1,000円 (中・高校生)

*We Are Friends!*

## 青少年活動室

英語で自己紹介やクッキング、ハロウィンパーティーなど、毎月違ったテーマについて、ゲームやクイズを使って、講師の久徳ウェンディさんと一緒に英語を楽しむ“*We Are Friends!*”は、原則第3日曜日にクリエイトセンターで行っています。小学校4年生から中学校3年生まで、無料で参加できますので、英語を習ったことのない人もぜひ来てください。



## 2005年度行事予定

本年はミネアポリス市との姉妹都市提携25周年、安慶市とは20周年にあたり、記念行事を始め各種の訪問団派遣事業が増えています。(☆派遣★受入)

## 【ミネアポリス市との交流】

- ☆英語学習ツアー訪問団派遣  
(10人 7月8日～24日)
- ☆市民親善訪問団派遣  
(20人～30人 7月15日～22日)
- ☆スポーツ・バトンチーム派遣  
(30人 7月15日～22日)
- ★ミ市市民訪問団受入  
(約20人 11月12日～15日予定)

## 【安慶市との交流】

- ☆民間芸術訪中団派遣 (10人 10月下旬)
- ☆企業家友好訪中団派遣 (10人 10月)
- ☆市民親善訪中団派遣 (20人 11月上旬)
- ★安慶市自費訪問団受入 (未定)
- ★安慶市友好代表団受入  
(7人 11月上旬)

## 【内海町との交流】

- ☆市民訪問団派遣  
(約20人 6月8日～9日)

※茨木市国際親善都市協会では、ミネアポリス市・安慶市との周年記念祝賀会を計画しています。ミネアポリス市との記念祝賀会はミ市市民訪問団が来茨の期間、安慶市との祝賀会は安慶市友好代表団の訪問期間に開催する予定です。祝賀会への出席を希望される方は事務局まで御連絡下さい。



## 編集・発行

## 茨木市国際親善都市協会

事務局：茨木市市民生活部市民活動推進課内  
〒567-8505  
茨木市駅前三丁目8番13号  
TEL.072-620-1604 FAX.072-622-7202